



宇津救命丸株式会社と青木香港控股有限公司、 中国事業展開における合併会社「宇津香港控股有限公司」および 子会社「宇津健康産業(広州)有限公司」設立のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

宇津救命丸株式会社(代表取締役 宇津善博、以下「宇津社」と青木香港控股有限公司(代表取締役 呂斌、以下「青木社」)は、香港に宇津ブランドの中国事業に関する合併会社「宇津香港控股有限公司」(以下「宇津香港」)および宇津香港の100%子会社で中国市場調査やEC、店舗への卸売り販売など実務を行う「宇津健康産業(広州)有限公司(以下「宇津広州」)を、2021年7月に設立いたしましたので、お知らせいたします。両社は、宇津香港・宇津広州の設立を通して、400年以上の歴史を持つ宇津ブランドの、中国における市場拡大を目指して参ります。

■ 宇津香港設立の背景と目的

日本では少子高齢化が進み国内の子ども向け医薬品市場は縮小の一途を辿っています。宇津社も日本以外の市場を拡大すべく2016年から中国市場に進出していましたが、複数の代理店を経由しておりマーケティング施策がチャネルによって異なることで販売価格にも混乱をもたらし、ブランディングに深刻な影響を与えていました。そこで、2020年3月から、青木社が中国の総代理店となり、中国市場でのブランディングと事業全般に従事。中国ECモールのブランディング、マーケティング施策の練り直しと実行、KOLなどを使った大々的なプロモーション、価格整理により、現在、『宇津桃の葉ベビーローション』シリーズは業界でも高い人気を誇っています。2021年6月現在、『宇津桃の葉ベビーローション』の販売本数は前年全体の4倍となる30万本以上を販売しています。またオフライン(実店舗販売)での販売も、2019年からスタートし、中国全土の高級スーパーやドラッグストアで展開されています。

一方中国では、新型コロナウイルス感染拡大を背景に、中国消費者による日本事業者からの越境EC市場の規模が年々拡大しています。特に、化粧品・美容関連製品、健康商品、ベビー用品が人気です。この越境EC人気を契機と捉え、両社の合併会社とその子会社を設立し、青木社のEC運営やデジタルマーケティングの知見を活用しながら、スピーディーな経営の意思決定を行うことで、「宇津」ブランドが中国消費者に永く愛されるブランドになるよう取り組んで参ります。

■ 宇津香港および宇津広州の概要

(1) 社名	宇津香港控股有限公司 宇津健康産業(広州)有限公司 (宇津香港控股有限公司の100%子会社)
(3) 設立日	2021年7月
(4) 主な事業内容	中国における「宇津」ブランドの化粧品、健康食品、医薬品の輸出入、卸売・小売
(5) 登録資本金	100万米ドル 出資比率 青木香港控股有限公司56%、宇津救命丸株式会社44%

本件に関するお問い合わせ先

宇津救命丸株式会社 専務取締役 宇津善行 utsu.yoshiyuki@uzukyumeigan.co.jp
宇津香港控股有限公司 松雪 songxue@qingmutec.com

両社社長コメント

宇津救命丸株式会社 代表取締役 宇津善博

弊社は創業以来、小児薬の専門メーカーとして小児の医薬品を作り続けておりますが、国内の出生人口は82万人まで落ち込み、加えて小児の医療費無料化が広がるなど、弊社にとって大変厳しい状況となっております。一方、中国の出生人口は減少傾向であるものの、1465万人と圧倒的に多い(2019年度)状況です。また近年の中国消費者内の日本製ベビー商品や医薬品人気から、弊社にとって中国が大きな市場となっております。そこで、このたび中華人民共和国青木香港控股有限公司と香港に合弁会社「宇津香港控股有限公司」を設立することとなりました。設立の目的は、宇津ブランドの周知、中国市場ニーズに合った商品の供給、新規ルート開拓などにあります。またこれを足掛かりとして広くアジアに進出したい所存です。つきましては、お取引様におかれましてはご理解を賜りたく、今後ともご協力、ご尽力を何卒よろしくお願い申し上げます。

宇津救命丸株式会社の概要

1. 名称 宇津救命丸株式会社
2. 所在地 東京都千代田区神田駿河台3-3
3. 代表者 宇津善博
4. 事業内容 医薬品及び医薬部外品などの製造及び販売
5. 資本金 4,800万円
6. 設立年 1926年(創立1597年)

青木香港控股有限公司 代表取締役 呂斌

2011年に設立された青木は、10年間の発展と蓄積を経て、中国のトップECプラットフォームであるTmall天猫、JD京东、VIP唯品会、Tiktok抖音の戦略的パートナーとなりました。青木は、6年連続で「Tmall 6スターサービスプロバイダ」の称号を得ており、業界で唯一「Tmall 6スターサービスプロバイダ」と「Tmall国際パープルスターサービスプロバイダ」の両方を受賞した会社となりました。青木からEC運営サービスを提供しているブランド全体の売上は、2011年の600万元(約1億円)から2020年には80億元(約1348億円)へと急速に拡大しています。青木は、今後も独自の新しいEC運営モデルを構築し、ブランドに全チャネル運営のためのワンストップ統合サービスを提供し、データとテクノロジーを駆使したグローバルなリテールサービスのエキスパートを目指していきます。2020年3月、青木は宇津社の中国総代理店となり、宇津ブランドのEC運営、マーケティング・プロモーション、チャネル・ディストリビューションなど、あらゆる事業管理を担当しています。両社は、お互いの実力とポテンシャルを認め、宇津の中国事業を拡大するために、合弁会社を設立することで合意しました。宇津社のお取引様とご縁ができて非常に光栄に存じます。今後お世話になること沢山あるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

青木香港控股有限公司の概要

1. 名称 青木香港控股有限公司(青木数字技術股份有限公司(広州)の100%子会社)
2. 所在地 香港九龍灣常悅道20号環球工商中心
3. 代表者 呂斌
4. 事業内容 EC運営代行サービス、ブランド総代理、デジタルマーケティング、ソフトウェア・ビッグデータ、倉庫物流など
5. 資本金 5000万元(約8億4000万円)
6. 設立年 2011年

青木香港控股有限公司(青木数字技術股份有限公司)の主な取引先や事業例

青木は設立以来、毎年200~300%の成長率を維持しながら事業規模を拡大しており、これまでにECCO、Skechers、Emporio Armani、Mido、Stuart Weitzman、apm、Acne Studios、Michael Kors、DISSONA、FION、G2000、BALENOなど、国内外の100以上の有名ブランドにサービスを提供してきました。専門的なサービス能力、豊富なECの統合経験、強力な技術チームにより、主要ブランドの飛躍的な発展を実現し、お取引先様に巨大な利益拡大をもたらしています。